

カンピロバクターの食品健康影響評価の基本的考え方

関連情報の整理

対象病原体、汚染実態、食中毒事例などの関連情報の収集・整理

問題点の抽出

上記で得られた情報を分析し、現状の問題点を抽出

想定される対策の設定

抽出された問題点から、考えられる対策を設定

- 農場での管理の強化(汚染率の低減)
- 食鳥処理場の区分(汚染鶏と非汚染鶏の区分)
- 食鳥処理場における衛生管理の徹底(塩素濃度の管理等)
- 調理(生食の抑制、交差汚染の低減、加熱調理の徹底)

定量的手法を用いた解析

上記で設定した各種対策の効果をモデルを用いて推定

評価結果

現状の
リスク

どの程度の
差を有するか

各種対策を
講じた場合
のリスク

- 現状のリスクの推定
- 現状と各種対策を講じた場合のリスクの比較
- 各種対策のリスクに対する影響度の明示とランク付け

提言

- 管理措置の検討
- 高感受性集団の明示と留意点
- ギランバレー症候群の知見の集積と将来的な再評価の検討